

スカルプパックコンディショナー全成分表示内容

表示名称	成分名	配合目的	説明
水	精製水	溶剤	常水（通例、水道水を指す）を蒸留するか、またはイオン交換樹脂を通して精製した水。
セタノール	セタノール	乳化安定助剤	天然にはマッコウ鯨の脂質の主成分であるエステル中に多量に含まれ、乳化物の乳化安定助剤として優れている。皮膚を保護し、べとつかない光沢を与え、乳化物の白色化を促進する。抱水性に優れている。
ミネラルオイル	流動パラフィン	油性基剤	石油原油から固形パラフィンを除去し、精製して得られ、皮膚面に耐水性皮膜を形成させる。化粧品では油相原料として広く使用され、医薬品では下剤、軟膏剤などとして使用する。
ジメチコン	高重合メチルポリシロキサン(1)	滑沢剤	皮膚や毛髪表面に撥水性のある皮膜をつくり乾燥を防いだり、粉体表面をコートし撥水性を持たせるなどの目的で使用される。化粧品使用時の余分な泡立ち防止のためにも用いる。
ベヘントリモニウムクロリド	塩化アルキルトリメチルアンモニウム	界面活性剤	陽イオン性界面活性剤。毛髪に柔軟性を与え、帯電を防止する。皮膚刺激が低く、皮膚・毛髪保護作用がある。頭髪用製品、リンスなどに用いられる。
グリチルリチン酸2K	グリチルリチン酸ジカリウム	保湿剤 (抗炎症)	シベリア南部、中国西部あるいは東ヨーロッパに自生する多年草でマメ科の植物「カンゾウ(甘草)」の主要成分で、砂糖の50倍の甘味があるといわれる配糖体グリチルリチン由来のグリチルリチン酸のカリウム塩。抗炎症、抗アレルギー作用があり皮膚炎に対して著しい効果を持っている。頭髪分野では円形脱毛症の治療薬として利用されている。また、男性型脱毛症の原因と考えられる5 α -リダクターゼの活動を抑制する働きも持つと言われている。
酢酸トコフェロール	酢酸 dl- α -トコフェロール	保湿剤 (血行促進)	ビタミンEの誘導体で、末梢血管拡張作用、抗酸化作用に優れています。また、皮膚の血行を促進させる働きがあり、抜け毛防止、育毛にも効果があります。化粧品では皮膚の老化防止に使用されている。
ポリクオタニウム-51	2-メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリン・メタクリル酸ブチル共重合体	保湿剤	リピジュア(超微粒子)には高い保水作用がある(水分保持能はヒアルロン酸の約2倍)。髪に滑らかでサラサラとした指どおりを作るだけでなく、高い保湿力で潤いを与え、髪の成長に重要な頭皮を健康にする。また育毛剤を頭皮表面に保持し、育毛剤の有効成分を効果的に作用させることができる優れた作用を持っている。

タナクラクレイ	含硫ケイ酸アルミニウム	吸着剤	数千万年前、海洋動植物(藻類や海藻、魚介類、プランクトンなど)が海の中で沈殿して堆積し、長い年月をかけて、微生物の働きにより、分解・代謝・再合成を繰り返してきた天然無機質資源である。その特長は、各種ミネラルが、バランス良く豊富に含まれているので、頭皮を健康にする。特に酸化鉄と微量の硫黄の働きによって消炎効果がある。そして、海泥の粒子が20~30ミクロンという微細な孔(あな・へこみ)がたくさんある多孔質であるため毛穴の老廃物を吸着し、毛根の自立活性効果を高める。
コンフリーエキス	コンフリーエキス	保湿剤	ムラサキ科の植物であるコンフリー(ヒレハリソウ)から抽出されるエキス。ムチン、アラントイン、タンニン、アミノ酸を含み、抗アレルギー作用、抗炎症作用、保湿作用がある。
タマサキツヅラフジ根エキス	タマサキツヅラフジアルカロイド	保湿剤	別名セファランチンと呼ばれている成分で、多年草ツル科の植物であるタマサキツヅラフジの根茎から抽出される。頭皮の血行を促進し毛母細胞を活性化し育毛効果に優れている。 特に、円形脱毛症の治療薬として、医薬品レベルでの使用もされている。ここ数年の研究では円形脱毛症以外にも粘多糖性脱毛症(フケ症による脱毛)に有効な成分と言われている。また、抗アレルギー作用(膜安定化作用、ヒスタミン遊離抑制作用)、皮膚血管の拡張作用、毛髪保護作用(過酸化脂質抑制作用)を示す報告もなされている。
オタネニンジンエキス	ニンジンエキス	保湿剤	ウコギ科のオタネニンジンの根は、何千年もの昔から中国で栽培されてきた。中国では、若さを保つための活性効果のある万能薬として現在も用いられている。オタネニンジンには、身体機能に向けて全身機能を活性化させる働きを備え、ビタミンの他にも非常にたくさんの栄養成分を含んでおり頭皮を健康にする作用が期待できる。
ホホバ油	ホホバ油	保湿剤	ホホバは「砂漠の黄金」もしくは「渴き知らずの草」との異名を持つ。これは小木がカリフォルニアやメキシコの雨が何週間も降らない高温の砂漠地帯に生息するところから名づけられたとされている。豊富な必須脂肪酸やビタミンを含むために毛根の新陳代謝を高めて育毛を促す。

褐藻エキス	海藻エキス(1) 海藻エキス(4)	保湿剤	褐藻、紅藻、緑藻の成分を混合した海藻エキス。脂肪分解酵素であるリパーゼの活性を強力に促進し、また、血流促進作用も認められている。頭皮に詰まった皮脂成分などを効果的に除去することができる。
紅藻エキス			
緑藻エキス			
チンピエキス	チンピエキス	保湿剤	ミカン科のウンシュウミカンの成熟した果皮。中国ではポンカン及びその近縁種が用いられている。ベルベリンなどのアルカロイド類、フラボノイド類を多く含み、古くから風邪薬などにも用いられている。抗酸化作用、抗菌作用、血流促進などの作用により、育毛を促進するとされている。
ダイズエキス	ダイズエキス	保湿剤	マメ科、ダイズ属の一年草。中国大陸原産で、世界的に広く栽培されている。中国では、約 5000 年前より栽培されていたと言われている。含有されているイソフラボンは皮膚に対する女性ホルモン様作用が認められており、男性ホルモンと拮抗的に働く。また皮脂腺の抑制作用があり、フケを抑える。
ヒオウギエキス	ヒオウギエキス	保湿剤	西日本・東南アジアに自生するアヤメ科、ヒオウギ属の植物から抽出されるエキス。エキス中に女性ホルモンのエストロゲンに似た構造を持つイソフラボン誘導体を含有している。動物実験では 5 α -リダクターゼ低下作用が認められている。
加水分解コラーゲン	加水分解コラーゲン液	保湿剤	タラやヒラメなどの海産物の皮などを酸、アルカリ、酵素などにより加水分解して得られるコラーゲンたんぱく加水分解物である。毛髪の損傷を防止し、また毛髪に柔軟性と光沢を与え、その帯電防止効果によりくし通りを良くする。皮膚に対しては、乾燥した皮膚に水分を保持し、肌荒れを防ぎ、うるおいとしなやかさを維持する。
ヒアルロン酸 Na	ヒアルロン酸ナトリウム(2)	保湿剤	1gで水 6,000mlの水を保持することができるヒアルロン酸は皮膚の真皮に含まれる天然の保湿因子(NMF)で、皮膚の水分保持に大切な働きをしている。優れた水分保持能で皮膚にハリを与え、なめらかにする効果がある。
ユーカリ油	ユーカリ油	保湿剤	数あるエッセンシャルオイルの中で、ユーカリには人の心を癒す力があると言われている。さわやかで心を落ち着かせる香り。皮膚についた細菌や異物を殺菌消毒してくれる効果があり、抵抗力を高め、皮膚を柔らかくする性質がある。

パルミチン酸レチノール	パルミチン酸レチノール	保湿剤	油溶性のビタミン A 誘導体で、ビタミン A は皮膚の保護、発育などに不可欠な成分。欠乏すると皮膚の乾燥や角化、細菌に対する抵抗力が弱まるなどの症状が発現する。ニキビのケアやしわなどの乾燥で痛んだ肌の改善を目的に、クリームや乳液などに配合される。最近では抗酸化作用も報告されており、肌の老化に対して効果がある。
テトラヘキシルデカン酸アスコルビル	テトラ2-ヘキシルデカン酸アスコルビル	保湿剤	コラーゲンの生成、タンパク質、糖の代謝、内分泌機能の調整、さらに血管壁を強固にし、血小板の生成を促し、赤血球を増加させる。また、皮膚色素の異常沈着の抑制と除去作用など広い範囲にわたって生体内で働く。人体にとって重要なビタミンの一つで、医薬品や食品にも多く使われている。抗酸化作用が強いため、皮脂に多く含有される不飽和脂肪酸の酸化を抑制して、皮膚のサビである「過酸化脂質」の生成を抑制する作用を有しているため、過酸化脂質が原因となっているスキントラブルの発生を抑制することが期待できる。
クエン酸	クエン酸	pH 調整剤	遊離酸あるいは塩の形で植物界に広く分布しているが、特に柑橘類の果実に多量に含まれている。デンプンなどの糖質から糸状菌により発酵させて製造している。主に pH 調整剤として使用される。
(アミノエチルアミノプロピルメチコン/ジメチコン) コポリマー	アミノエチルアミノプロピルメチルシロキサン・ジメチルシロキサン共重合体	毛髪保護剤	毛髪への滑らかさを付与するアミノ変性シリコンオイルで、毛髪と強く結びつき、皮膜効果によってツヤやしなやかさを与えるために用いられる。
ステアリン酸グリセリル	親油型モノステアリン酸グリセリン	界面活性剤	ヤシ油もしくはパーム油から得られる、ステアリン酸とグリセリンからなる界面活性剤。安全性の高い乳化剤として、品質を安定に保つために用いられる。また皮膚をしっとりしなやかにし、柔軟性のある皮膚を保つために用いられる。
ステアリン酸 PEG-40	モノステアリン酸ポリエチレングリコール	界面活性剤	優れた乳化作用を示す。ポリエチレングリコールの付加モル数が少ないものは W/O 型乳化剤、多いものは O/W 乳化剤となる。
ステアリン酸 PEG-55			
ラウレス-4	ポリオキシエチレンラウリルエーテル	界面活性剤	ラウリルアルコールに酸化エチレンを付加重合して得られる非イオン界面活性剤。酸化エチレンの付加モル数によって、湿潤剤、乳化剤、洗浄剤、可溶化剤等に使い分けられ、洗顔料やクリーム、乳液などに使われる。
ラウレス-5			
ラウレス-23			

BG	1,3-ブチレングリ コール	溶剤	溶解性が良好で抗菌性も持ち合わせている保湿剤。べたつきがなく、さらっとした使用感を有している。皮膚に対する刺激がなく、毒性も極めて低いため、化粧品全般に使用される。また、化粧品に配合する様々なエキス類の抽出溶媒として広く使用されている。
エタノール	エタノール	溶剤	一般に「アルコール」と俗称されている。化粧品には欠かすことのできない原料で、各種物質を溶解する性質があるので溶剤として多用される。また、洗浄、殺菌、取れん、可溶化、乾燥促進などの目的でも配合される。
メチルパラベン	パラオキシ安息 香酸メチル	防腐剤	皮膚刺激や過敏症などが少なく安全性が高いため、化粧品用の防腐剤として使用される。広範囲の微生物に非常に有効。2種類以上併用すると防腐効果が高まる。
プロピルパラベン	パラオキシ安息 香酸プロピル		